夕刊

四月八日發行

定價（郵稅拾五錢）
本社　磐城新聞社
郵便振替貯金口座東京一〇九五六番
電話五六四二番
磐城新聞社
平町字田町六番地
磐城新聞社
平町字田町六番地
磐城新聞社
平町字田町六番地
磐城新聞社
平町字田町六番地
（日曜祭日翌日休刊）

博覽會よたある記

（上）

城山　秋月生

日はうらゝかだ。博覽會よいよ〳〵開いた。賴みもせぬに、饒舌な小鳥共は軒端から、春だよ！春だ！と頻りに誘ふ、第一會場に特設の大スピーカーは寄らんしよ、來らんしよ、廻らんしよ、と毎日大きな、天にも響く樣な大きな聲で全町に呼びかけてゐる。も一度言ふけど、日はうららかなのだ。

そして博覽會では寄らんしよ、來らんしよ、廻らんしよ、と盛に景氣を煽つてゐるのだ。

だもの、なんで家の中になんかジッとして居られるものか、それに人一倍氣早なSとKとHだ、早速揃つて博覽會見物に出掛けたのに不思議はない。友は類をもつて集まる、とは古人の言だが、SとKとHとは揃ひも揃つてよく揃つた尻輕な三人なのだ。

先づ第一會場の入場券賣の場窓口でSが興太をとばす。

『大人二枚、小人一枚』

『？……』。背丈五尺二分きりないK。Sの切符注文に目を圓くする。

出札嬢も一寸窓からのぞくに大人三人ゐて大人二枚小人一枚とはチト不思議だと訝る。

『大人二枚に、小人一枚ですか？』鈴を振る樣な聲だ。

『エ……』濟ましたものだ多分Kがチビだから半額でごまかす積りなのだらう。太い野郎だ。でも出札嬢の親切な說明にすつかり恐縮して大人三枚を買つて入る此の點案外可愛處がある。

入口でパンチを入れて貰き己が懷中のガマ口を握つた三人は先づ西館に入るチビで近眼のK。正面の三人揃ひの花見人形をほんとうの人間と感違ひして耳に注意される。

『な、あァんだ。人形だつたのか！』とてつもない。大きな聲だ。オカシサに堪へかねた監視嬢、いとも上品に口許に手を當てて

『ホホホ……』K君、男を下げる事約三割。

近眼でも耳の慳なK、憤然と向き返つたまでは好かつたが、トチシャだつたので忽ちグニャ〳〵となり、ニヤリとしたまま次に歩を移す。だらしのない事夥しい。甘い野郎だ。

次は東京何とか屋の出張陳列だ、電燈の光に燦然と輝く黃金色の指輪をヅラリと竝べて、

『化學應用の指輪で御座います。何卒博覽會の御土產にいかがなさいます。』と出張員が說明しとる。

『オイ、三十錢だつてよ』

『安いね』Kだ。三人欲しそうに其の前にしばらく佇立。

『化學應用、合金製、純金代用の指輪で御座います』出張員三人をみて頻りに說く。

三人しばらくは顏を見合せたり、指輪を眺めたり。

此處でSの氣持を一寸解剖してみると先づ大体此んな風だ。……『欲しいなア』……何處から見たつて三十錢とはみへぬ、安い、たしかに安い、買つて行つたら親切な說明にすつかり恐縮して大人三枚を買つて入るこの點案外可愛處がある。

——Sの手は無意識に空しく彼女が喜ぶだらうなアでも……でも……でも！』

——Sの手は無意識に空しく彼女が喜ぶだらうなアでも……でも……でも！』

時代警語

○聖人は愚なるが如し……（俚諺）

物識り顏に問ひもせぬに云つたり語つたり或は肩で風切つて小生意氣な姿をなす者がないではない、これ所謂小才子小利口と云ふもので大事樣や大難事に當つて之を爲し遂げるものに非ず……

東京の交番での話（童謠詩）

島田忠夫

舊正月の
餅しよつた
おいら田舍の
婆でがす

うちの虎吉
何處ですべ
はずれのお宿も
來てますだ

はいね、居所
知れねえが
電車の車掌を
してるとよ

駐在さんも
好きだかれ
そんなら草餅
上げやせう。

新しい家

小田俊夫

父さんお家を
建てました

新しい壁
白い壁

庭からつゞく
葱畑

僕にもお部屋を
くれました

新しい窓
硝子窓

孟宗林の
朝日の出。

社會の今日

○

もち草は伸び過ぎにけり巢箱出づる蜂の羽音の日に日にしげし

戶臺　俊一

△藤原家隆薨ず（嘉禎三）△長淵の戰（天正一一）△米國南北戰爭終る（一八六五）△航空法公布（大正一〇）△鐘紡淀川工場罷業開始（昭和五）△シャム國兩陛下歐蘭御發米國へ向はせ

拈華微笑

花下の龍攘虎搏軍國の春に忠魂祭武道大會當日の壯觀

◇

巡査募集に卅倍の志願。恁うなると合格は奇蹟で落ちるが當然

◇

どうやら小便になるらしいフン爭を重ねた無料汲み取り問題

◇

町非とされた南町の私娼存在

◇

博覽會の爲には催花の雨と諦められぬ恨めしい今日の天候

○……○

俠艷女長兵衛

東京　斯波南叟（魚崎潮畫）

（一七九）

此方はお龜と萬助鐵六……夫れに源氏車の政、一粒ねりの四人の者は源氏車の案內によつて橫手へ廻つた瓦塀を乘越へて雨戶の側へ進むと、何思ひけん政吉はぼりの樣の下へ飛込んで、片隅の樣側を一枚外して中へニュッと首を突つ込み、前後の樣子を見たところが家の中のものは皆表門の騷ぎに驚き、男連は加勢に飛出し女連は一ッ所へ寄合つて震えて居ると見え、見渡す限りの長廊下に人の影は一ッもございません、政吉は突込んだ首を再び出し 政『此處からだ』と小聲に言つて先に立つて入り込む、續いて三人は音を忍ばせて右の椽板の穴から入る、外のものは斯う云ふ藝當は出來ないが、政吉は弟子に命じて部屋でございます、何うも普請の折柄忍び込むところを造つて置いたのは云ふ迄もありません、其儘政吉の幾室も出來てゐる、其邊は遠くからも認められるが此方は闇の中に立つて居るから見定めた、向ふはぼんやりと見えて居る。見渡す限野郎とブツ突かるが好いんだから、失れを悟られる！』と聲を掛けたが長兵衛の事は無い、政吉はお龜の袖を引いて耳に口 政『この樂ら能く來て呉れたとも、何驚き、男連は加勢に飛出し排ぢやア親分は大丈夫無事故來たとも言葉がありませ女連は一ッ所へ寄合つて震だ、此處から入つて水野のえて居ると見え、見渡す限野郎とブツ突かるが好いんりの長廊下に人の影は一ッで』と一方の壁をグッと押すもございません、政吉は突すと、其處は例の含洞返しつたか……』と云つてるう込んだ首を再び出し 政『此で音も無くスルリと廻つたち處からだ』と小聲に言つて一同舌を卷きながらも、其處から入る、外のもッと前へ進むと、橫合から巧妙の出來を考へて居る間もありません、ッ、、、、、チラ〳〵火がさす一室、是れぞ長兵衛の擔ぎ込まれた部屋でございます、何うも風呂場の中に

會て怪猫玉が血しぶきをあげた場所に相違ない 亀『水野十郎左衛門待つた』お龜の聲は凛として締切つた湯殿の中に反響する 十『何だ何者だッ』今や長兵衛の病床に踏み込んで有無の挨拶を聽かうとでも思つて來たらしいが、おカメの聲に驚いて吃と其儘踏み止まつたおカメはツカ〳〵進み。亀『姜共は花井長兵衛の家の者だが、親分の大事は姜共の大事、ヤワカ眼の光るうちは親分を殺させはせぬ、足腰叶はぬものを理不盡に連れ來るとは亂暴の行き止まり、默つて親分を返すか夫れが出來なければ姜共の死骸を眼の前に並べて貰ひたい』十郎左衛門は前後を振返つたが、素より此處は秘密の部屋で、小姓一人も連れ込まず聊か不安を感じたが素より强膽至極の十郎左衛門十『無禮者めが、身分の程も辨へず夜中予の屋敷へ侵入するとは無禮、よし望み通り貴樣達の首を並べてやるから然う思へ』襖をバット開いてなげしから九尺柄穗長の槍をおつ取つた襖が開くと中には百目蠟燭が二本も立つて、眞昼のやうな明かるさが外まで溢れ出します、一同の眼は思はず中へ引込まれた、見ると其處には絹布の夜具布團で高枕、親分長兵衛の橫だはつて息も絕ゆげに眼を閉ぢて居る 亀『あつ親分、カメが迎ひに參りました、只今お連れ戻りますから……』

三『親分、川越の萬助、竹藪の鐵六も居ります、源氏車の兄いが案內役で乘込みました、御安心なさいまし、監大野祿一郎

△七、〇〇A ニュース 氣象

△七、三〇C 講演（貨幣金融に現はれた國際主義と國民主義）名古屋高商教授高島佐一郎

△八、〇〇B 台灣音樂 一揚琴獨奏（南管）南詞天官…黃章曲 （北台放送局發大阪中繼）

△八、三〇 尺八と俚謠（尺八本曲『鈴慕』…俚謠…佐渡おけさ…兩津甚句）浦本浙潮

△八、五〇A ピアノと管絃樂 フローレンスヒュブナー…梶山夫人

△九、三〇A 時報

△九、三一C 奉天より

△九、四〇A ニュース

ラヂオ

……九日…（土曜）…

仙臺　JOEK

△前六、三〇A ラヂオ體操

△九、〇〇A 氣象通報

△九、一〇A 料理献立（インデアンチキンスタイル！）朝倉長吉

日用品値段

△一〇、三〇A 家庭講座（中樞神經の作用と睡眠）慶大醫學部教授醫學博士加藤元一

△正午A 時報

△後〇、〇五 ジャズ ベルトラインジャズバンド

△〇、四〇A ニュース 氣象

△二、〇〇A 家庭講座（箏曲）解說と實演…宮城道雄 唄…宮城芳子

△三、四〇A 氣象

△四、〇〇A ニュース

△二、四〇 六、〇〇A 運動競技（全布哇對明大野球試合狀況）明治神宮外苑野球場より

△六、〇〇A（子供の時間）漫畫劇（團子串助漫遊記）東京ともだち座

△六、三〇A 講演 警視總

△七、〇〇A ニュース 氣象

時代警語

○聖人は愚なるが如し……（俚諺）

物識り顏に問ひもせぬに云つたり語つたり或は肩で風切つて小生意氣な姿をなす者がないではない、これ所謂小才子小利口と云ふもので大事樣や大難事に當つて之を爲し遂げるものに非ず……

内科　外科　産婦人科　一般外科　花柳病科　入院隨意

平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

安齊外科醫院

看護婦募集

御子樣用防水マント

御子樣方の御通學に是非必要な防水マントを種々取揃へました。

◆ ゴム引……0.85
◆ 中ゴム……1.30
◆ 同（女兒用）…1.40

通學服も種々取揃へて御座います。

あかや洋服店　平三　電203

内科　花柳病科　小兒科　入院應需

藤沼醫院

平町紺屋町　電話平五〇七番

修繕半額

ガラス入替金五錢

學生用責任付の腕時計に買ひ上げ毎に一圓五十錢のサートン萬年筆進呈

秋山時計店

平驛前

度量衡。計量器。吸入用酸素。酸素吸入器。

關內藥局　電話四〇番

花環の御用命は新らしく安い！

橋本屋造花店へ

平新川町（電一六三）

夜診

胃腸　梅毒

內科　十二指腸蟲病　專門部

淋病　皮膚病　婦人病　專門部

外科

松村性病胃腸科醫院

（平南町電話一一〇七番）

療養間

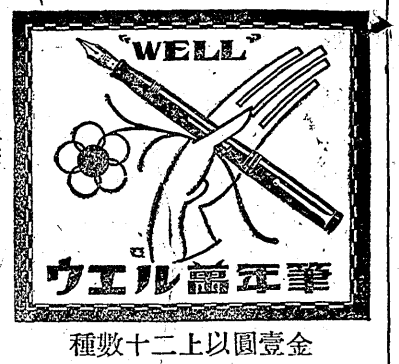
安く書てい書き

ウエル萬年筆　ライトインキ

文魁文堂

電話三一三番　平町字掻槌小路

代理店



金壹圓以上二十數種

ウエルの金ペンは正金四十本の一唯邦本專賣特許の合金方法で作製（東京府商工獎勵館試驗部）上呈目錄

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店

金物問屋　和洋銅物

釜屋商店

磐城國平町五丁目　電話九番　九九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は釜の生命なり

内科、小兒科　外科一般、婦人科　外科、梅毒、淋疾　皮膚病

市原卯太郎　市原陸郎　市原三三男

平町田町本通

市原醫院

（入院隨意）　電話一一四番

うなぎ丼　二十五錢

大蒲燒　四十錢

右之通り特に勉强致し上品用ひ仕出候間御試食の程御願申上候

此他ヒラキうなぎ（百匁四十錢　三十錢）

相馬屋

四丁目川岸通り（電話二六一番）

耳鼻咽喉科專門

日本醫大院長醫學士　鈴木正男

齒科口腔外科

日本齒科科長醫學士　鈴木喜政

下谷區入谷町二九一　入谷改正通り東交番前

鈴木醫院

生花教授

池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町四丁目和泉屋旅館

須藤まつの

地先水面漁業權競賣に脅威さるる沿岸民大衆

今後果して如何展開する？

高橋氏對兩組合間の紛爭

數年來の紛爭事件として今や一般周知の事實である靜岡縣の漁業家高橋亘氏が先年小名江名兩漁業組合を相手とつて提起した漁業權賃借確認による損害賠償請求訴訟は過般宮城控訴院に於て組合は高橋氏に對し一ケ年約六萬圓の賠償をなすべしとの判決あつたに對し組合は之を不當なりとして目下大審院で審理中の由でその結果は遽に豫斷をゆるさざるものあるが組合側にして依然敗訴に終る場合は營利組合に非る漁業組合として果して前記の如き多額の賠償に堪ふるや否や其間頗る懸念さるるものあるので由來漁業の發達保護に任じ縣當局の命令に從ひ忠實に經營を續け來つた組合が右の如き結果を告ぐるに至つては行政上由々しき大問題であると云ふ處から曩に只一回同樣の問題で紛爭を捲き起した外全國的にもその類例が無い問題丈けに今後の成り行きを刮目されてゐる

高橋氏側では事件は目下上告中にありと雖控訴院に於て既に損害額が決定したとしたなし組合が農林省から賃借に之を諒とし假令訴訟によせる地先水面漁業權（カジメ其他の海草採取及一船沿岸漁業）の競賣を策したる衆漁民の生活安全を考慮しが爲兩組合との間に紛爭を起し之を法廷に爭ひ相互に一勝一敗の結果を見たるを言明したるやに傳へられ旨各紙報道の通りであるがつつあるので該漁業權が競右の如き漁業權は組合自身賣に附さるるも其の結果は營利の目的にて農林省より實質に於て何等の影響を蒙借り受けたもので無く一般漁業民生活の資料としてそさぬものと觀測されつつあの權利を確保せるものにして該漁業權の保護により漁業に從事し生計しつつある漁民は兩組合下に於て數千人を算ふべく誠に民衆漁業とも謂ふべき內容を有し關係法規にも『地先水面專用の漁業權は行政官廳の認可を受くるに非れば之を處分する事を得ず』と規定されてる程で高橋氏側の主張に對して將來を憂慮した組合

競落による移轉は斷じて認めない

農林省當局の肚裡

林省に出頭詳細內容を陳情借り受けたもので無く一般漁業民生活の資料としてそさぬものと觀測されつつあの權利を確保せるものにして該漁業權の保護により漁業に從事し生計しつつある漁民は兩組合下に於て數千人を算ふべく誠に民衆漁業とも謂ふべき內容を有し關係法規にも『地先水面專用の漁業權は行政官廳の認可を受くるに非れば之を處分する事を得ず』と規定されてる程で高橋氏側の主張に對して將來を憂慮した組合

何れも圓滿解決を希望

地方有志の態度

地方の有識者は法律上の向背は兎に角一般民衆の生活を不安ならしむる此種の紛爭は時節柄能ふ限り相互の有利に解決して本縣漁業の發達に資すべきであると云ふ意向を持してゐる

爲替の拂ひを除き

平局も赤字揃ひ

昨年度の取扱概況

平郵便局に於ける六年度中の爲替及貯金取扱狀況は左の如く一般取引の不活潑から前年度より可なりの減少（括弧內數字）を示して居るが更に貯金にあつては幾分金融界の安定と共に郵便貯金を銀行貯金に振り替へんとする傾向があるのと爲替關係では商店の仕入が激減した爲らしく目立つた現象としては大部分が大口の受拂ひで小口は非常に少ない一事であると

△爲替受四〇九、八三一、〇八錢（△四、八六二、五三）拂七六五、四〇七、七三錢（〇一五八、〇九五、三八）△貯金受一、九七一、二九九、五六錢（△三五九、二〇一、一五）拂一、九五〇、六六三、九八錢（△三、八九五、二二）

花下に展開さるる龍虎相うつ壯觀

忠魂祭日の武道大會

武德會平分區主催の忠魂祭奉納第十八回優勝旗爭奪戰大會は十日午前八時から松ケ岡公園廣場で開催されるが今年は特に滿洲事件戰死勇士に對する慰靈の目的で一層盛大ならしむべく多數の參加者を募集中であるが今八日現在で既に二百餘名員に達し當日迄には三百名以上に達するものと觀られ櫻花の下に展開さるる龍攘虎搏の壯觀が豫想されてゐる

縣下統計主任會

赤土內務部長其他出席

廿一日平町で開催

郡下統計主任會は十三日午前九時から平町會議事堂で開催二十二日午前八時から平町の消火設備、水道貯水下統計大會に就き打合せをなす事となつたが大會當日は赤土內務部長、其他一行二十餘名及統計關係者八百名以上が出席すると

消防視察團來平　耶麻郡

翁島消防渡邊組頭以下幹部十一名は今八日午前來平し平町の消火設備、水道貯水池、其他を視察した

店員青訓生

昨年より減少か

平町の青年訓練所入所は目下各方部に手別けし勸誘中で未だ入所申込數は不明だが關係者の觀測によると店員例年以上盛大に執行すべく目下諸般の準備を進め居る

町是調査會

私娼街移轉協議

平町是調査委員會は十二日午後一時から町會議事堂で開催南町の私娼窟を一地區に移轉の件を協議する

糞尿無料汲取問題

農村側脆くも敗戰

臭い問題解決の域に入る

平町近在七ケ村の糞尿無料汲取問題に就ては屢報の如く關係部落民代表が有料汲取絕對反對の結束を固め再三町內大家主に交渉を重ねる一方要所に人を配り有料汲取人の出入を監視して來たが家主側の態度依然强硬なるに加へ施肥季に當面し到底持久戰が張り切れず

例年以上盛大に——各炭礦山神祭典

十四日から三日間執行

各炭礦の樂しい年中行事である山神祭は十四日から三日間行はれるが今年は特に不景氣打開の意味で各炭礦共例年以上盛大に執行すべく目下諸般の準備を進め居る

磐城民謠大會

其他各種餘興

餘興費として三千圓を計上し高坂、綴、宮、三坑及平發電所の四ヶ所で從業員民謠大會外他礦と同樣な各種催しに三日間を全山一大觀樂境と化する筈である

入山古河

素人芝居

相撲煙火等々

煙火、活動寫眞、相撲、銃術、大弓、柔道試合等の外素人芝居、從業員運動會などがある

總出動

少年少女子

呼び物は假裝

少年消防隊六十名の梯子登り女子六十名の薙刀振り、青年連の神樂御興等の外エログロ充分念入りな假裝行列等がある

採用割當て五名に百五十名が殺到

けふ平署の巡査試驗

本縣では本年度第一回警察巡査試驗を平郵是調査委員會は十二日午後一時から町會議事堂で開催南町の私娼窟を一地區練習生として二十名を募集今八日午前八時から山崎練習所長、菊地警部補、鈴木室丈けで間に合はず俄に各柔道師範の各試驗官により平署會議室で執行したが縣下四ケ所の試驗地に割り當て採用は僅か五名位の少數なるに拘らず百四十八名の職難の深刻さが如實に現はれ受驗者が押し寄せ準備したれて居た

時代に順應すべく地方農村の自覺

試驗場見習生倍加

縣農事試驗場石城分場の見習生三十一名の入場式は昨七日午前九時から同所で行つたが最近各農家が時代に目覺め新技術を要求する傾向が深くなつた爲見習生も昨年に倍加し農業改善の過程を辿りつつある實相歷然たるものあるので指導當局では少からず喜んでゐる

野木校長赴任　今回川部校長に榮轉した野木氏は今八日午前十時四十二分多數の見送りを受け出發赴任した

馬鹿に安い馬の値段

自動車の普及と農耕機械化が因

上遠野村の二才駒糶市は五錢で近年に於い馬鹿安で飼日から今八日まで行つたが養者は呆れ返つて居るが之昨七日迄三日間の出馬頭數は自動車の壓迫と農業の機械化で運送農耕兩方面とも二百五十二圓、最高八十圓需要が激減した結果である最低十圓、平均三十四圓十と

次回講談豫告

幕末南蠻異國秘錄

和蘭蛇お蝶

——（別名俠艶三代史）——

渡邊默禪作

想像を超越し……走馬燈の如く展開する……不可思議極まる長崎南蠻異人屋敷に起る……幕末俠艶の一大情炎史……全篇悉く奇怪驚嘆！

▼新開長篇講談として初めて世に現はれたる興味本位の大衆文藝（來十一日より連載）

各地情痴

ニユーススー

△華燭病者二組　東京市外目黑町中目黑寺崎富久司（二四）同府下巢鴨町上駒込四九二八木原やす（二八）は四日夜日光中宮祠丁田屋旅館に靜岡縣賀茂郡三田町鈴木合吾（三三）同シゲ（二九）は同夜日光可桐屋旅館に投宿したが何れも華燭病者と判り日光署で保護中

△お人芳雄憤慨　茨城縣濱市神奈川區一の四會社員鹿島郡巴村菅野谷新堀芳雄（三三）はこの程妻まつ（三七）の（）の兩名は六日自動車で日離婚訴訟を水戶地方裁判所に願ひ出た理由は大正十五年五月結婚し長男美知雄（四）次男勉（一）の二兒があるが最近まつが實家に逃げ吾（三三）同シゲ（二九）は同夜日光中宮祠丁田屋旅館にかへり他の男と情事關係を嫌つて實家に歸つたに過ぎないと抗辯の模樣

△自稱夫婦呷毒　自稱横澤村雪然藤本榮之助（三五）に放火事件は六日宮城縣